



十文字西地区 交流センター報

●令和5年度－12号
令和6年3月1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

十文字西地区交流センター
センター長 近 孝夫



十文字西地区の皆様お元気ですか。
令和5年度も最終月になりました。残りの1ヶ月、運営協議会の皆様と共に次年度に向けた事業を計画します。

皆様ご存知の通り、交流センター事業には、生涯学習事業（運動会や趣味・特技を活かした事業等）と地域づくり事業（どんど焼きや地区会議と連携した事業等）を実施しています。

加えて、集落支援員（センター長）として各地域との連携をさらに密にすることが必要で不可欠になりました。

3月になると暖かくなり、春の訪れに草木が芽吹く頃でもありますが、学校では卒業式、職場では人事異動等により別れの時期でもあります。しかし、日増しに日が長くなり春の到来が感じられる4月には「出会いの時期」でもありますので、令和6年度も十文字西地区交流センターを宜しく願います。

3月 弥生(やよい)の歳時記 一部参照

- 弥生☞「弥」はますます・いよいよという意味。「生」は生いしげる様子。春が近付き草木がいよいよ生いしげる様子で、その時期であることを表しています。
- 啓蟄☞ 3月6日（二十四節気）「啓」は開く、「蟄」は土中で冬ごもりしている虫などのことを指します。春の訪れを感じて、冬ごもりしていた虫が外に這い出てくる頃です。
- 彼岸☞ 春分の前後3日を合わせた7日間が「春彼岸」。3月21日が春分ですので、その3日前の3月18日に彼岸入りし、3日後の24日に彼岸明けします。



～ 偉人の言葉に学ぼう ～



◆人生を動かす哲学者の言葉より ロジャー・ベーコン(13世紀・イギリス)

「人間は賢明になればなるほど、
ますます腰を低くして他人から学ぼうとする」

《意味》賢い人とは、「自分にはない知識や経験を他人から教えてもらおう」という意欲が旺盛な人です。 ※「上から目線の人に賢い人はいない」

★第1回地区交流センター大交流会 2/1(木) 浅舞地区交流センター★

- 「オラほのじまん、オラほのやりがだ、オラほのおもしろごと、みでけれ〜！」を合言葉に、横手市地域づくり支援課主催で各地区交流センターに集う運営協議会やサークルメンバーを対象にした大交流会が開催されました。最初に自慢発表があり、我が地区では川前・中島いきいきサロン代表の松野利喜男さんが、地区交流センターと連携した活動を発表し、参加者から好評を得ました。他、十文字和紙や陶芸サークル等の作品展とカフェや試食コーナーを通じ和やかな交流があり有意義な時間となりました。次回開催への要望もありました。



●昨秋に暖冬予報が出たものの、まさかこれほどまで雪の降らない冬になるとは思いもしませんでした。木々の芽吹きも早まることなのでしょうね。今年度も地域の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。これからも地域の身近な施設として親しまれるよう頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。
(事務担当 吉村)

